(19)日本国特許庁（ＪＰ）　(12) 公開実用新案公報（Ｕ）　(11)実用新案出願公開番号

実開平6－77719

(43)公開日　平成６年(1994)11月１日

(51)Int.Cl.[5]	識別記号	庁内整理番号	ＦＩ		技術表示箇所
Ａ６１Ｆ　13/15					
Ａ４１Ｂ　13/04		2119－3Ｂ			
Ａ６１Ｆ　5/44	Ｈ	7108－4Ｃ			
		2119－3Ｂ	Ａ４１Ｂ　13/ 02	Ｋ	
		2119－3Ｂ		Ｍ	

審査請求　未請求　請求項の数 3　ＯＬ　（全　３　頁）

(21)出願番号　実願平5－19938

(22)出願日　平成５年(1993)４月19日

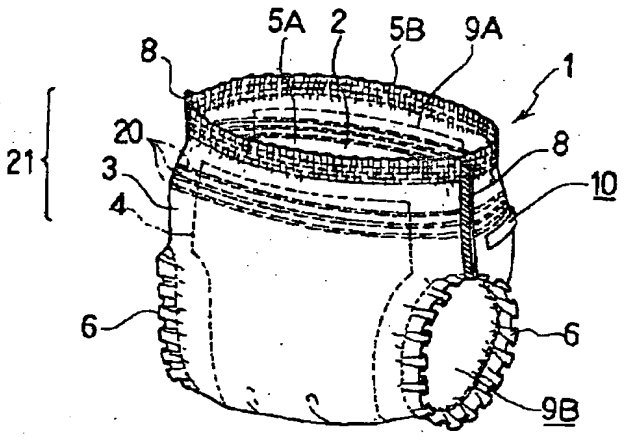
(71)出願人　000000918
花王株式会社
東京都中央区日本橋茅場町１丁目14番10号
(72)考案者　早瀬　徹
栃木県宇都宮市大曽３－２－24
(72)考案者　樋田　治三
栃木県芳賀郡益子町七井1014－５
(72)考案者　川口　晴子
栃木県芳賀郡市貝町市塙4594
(74)代理人　弁理士　羽鳥　修

(54)【考案の名称】　使い捨ておむつ

(57)【要約】　（修正有）

【目的】　容易に着用者に着用させることができ、かつ胴周り部の調節が容易でずり落ちを防止し、排泄物が漏れることがなく、排泄状態を確認できると共に、容易に廃棄することができるパンツ型の使い捨ておむつの提供。

【構成】　液透過性の表面シート、液不透過性の裏面シート及びこれらの間に介在する吸収体とを有し、且つ前後のウエスト部が左右それぞれ接合されて、ウエスト開口部とレッグ開口部とが形成されてなるパンツ型の使い捨ておむつにおいて、上記ウエスト開口部とレッグ開口部との中間領域におけるおむつの胴周り部に、上記吸収体の幅方向に伸縮して該胴周り部にギャザーを形成する弾性伸縮部材を設け、且つ上記裏面シートの表面に、摘み部を有するテープファスナーを、該摘み部を上記弾性伸縮部材と平行な方向に向けて配設した使い捨ておむつ。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項１】　液透過性の表面シート、液不透過性の裏面シート及びこれら両シート間に介在する吸収体とを有し、且つ前後のウエスト部が左右それぞれ接合されて、ウエスト開口部とレッグ開口部とが形成されてなるパンツ型の使い捨ておむつにおいて、

上記ウエスト開口部とレッグ開口部との中間領域におけるおむつの胴周り部に、上記吸収体の幅方向に伸縮して該胴周り部にギャザーを形成する弾性伸縮部材を設け、且つ上記裏面シートの表面に、摘み部を有するテープファスナーを、該摘み部を上記弾性伸縮部材と平行な方向に向けて配設したことを特徴とする使い捨ておむつ。

【請求項２】　上記ギャザーが、複数の弾性伸縮部材より形成されていることを特徴とする請求項１記載の使い捨ておむつ。

【請求項３】　上記テープファスナーが、上記複数の弾性伸縮部材の間に設けられていることを特徴とする請求項２記載の使い捨ておむつ。

【図面の簡単な説明】

【図１】図１は、本考案の使い捨ておむつの１実施例におけるおむつの表側（腹側）を示す斜視図である。

【図２】図２は、図１に示す使い捨ておむつの展開図である。

【図３】図３（Ａ）は、図１に示す使い捨ておむつにおけるテープファスナーの拡大斜視図であり、図３（Ｂ）は、その剥離させる態様を示す拡大斜視図である。

【図４】図４は、本考案の使い捨ておむつにおけるテープファスナーの他の例を示す拡大斜視図である。

2

【図５】図５は、本考案の使い捨ておむつにおけるテープファスナーの他の例を示す拡大斜視図である。

【図６】図６は、本考案の使い捨ておむつにおけるテープファスナーの他の例を示す拡大斜視図である。

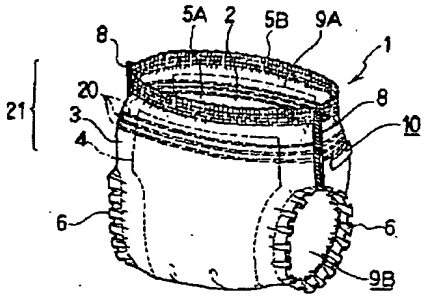
【図７】図７は、本考案の使い捨ておむつの他の実施例を示すおむつの展開図である。

【図８】図８は、本考案の使い捨ておむつの他の実施例を示すおむつの展開図である。

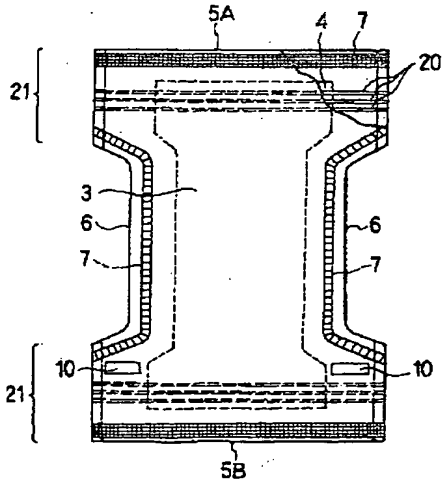
【符号の説明】

1	使い捨ておむつ
2	表面シート
3	裏面シート
4	吸収体
5Ａ	前のウエスト部
5Ｂ	後のウエスト部
6	レッグ部
7	弾性部材
8	接合部
9Ａ	ウエスト開口部
9Ｂ	レッグ開口部
１０	テープファスナー
１１	固定部
１２	止着部
１３	台紙
１４	粘着部
１５	摘み部
２０	弾性伸縮部材
２１	胴周り部

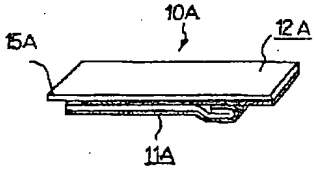
【図１】



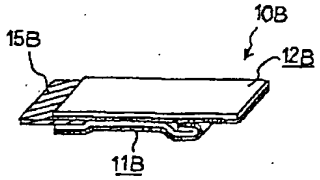
【図２】



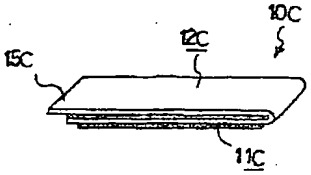
【図４】



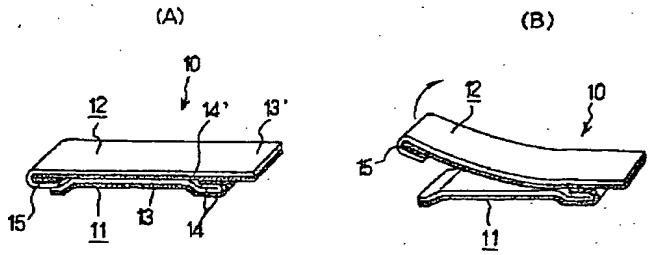
【図５】



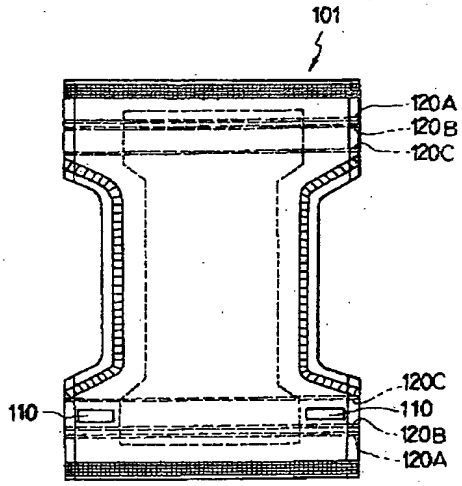
【図６】



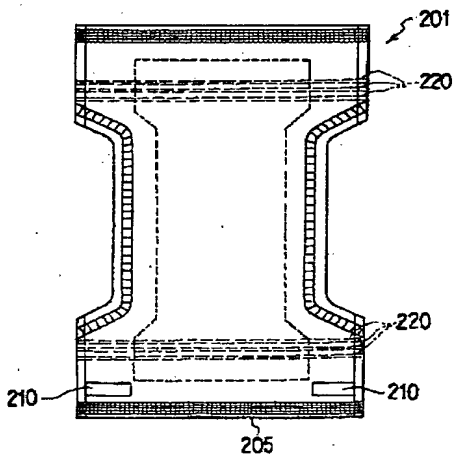
【図3】


(A)
(B)
10
12
14'
13'
15
11
13
14
12
10
15
11

【図7】


101
120A
120B
120C
120C
110
110
120B
120A

【図8】


201
220
220
210
210
205